

沖縄総合事務局開発建設部建設コンサルタント業務（営繕関係）審査委員会
議事概要

開催日及び場所	平成22年7月26日（月） 2階 共用会議室C	
委員	委員長 山田 義智（琉球大学工学部環境建設工学科教授） 委員 志村 恵一郎（沖縄県土木建築部施設建築課長）	
対象事案	総件数 1 件	（備考）
公募型プロポーザル方式	1 件	
簡易公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型に準じたプロポーザル方式	件	
標準プロポーザル方式	件	
公募型総合評価落札方式	件	
簡易公募型総合評価落札方式	件	
簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容	上記について、発注方式、評価基準等の説明を行い原案通り了承された。	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>1. 公募型プロポーザル方式</p> <p>1) 新石垣航空基地設計業務</p> <p>同種業務の条件としては施設用途を格納庫に限定し、類似業務では用途を縛っていない理由は何か。</p> <p>類似の条件で、施設の規模やスパン長が、同種の半分となっているが根拠は何か。</p> <p>特定テーマで、建設コストの縮減を求めているが、ランニングコストの縮減については求めないのか。</p> <p>参加表明時には、事故及び不誠実な行為の評価を行っているが、技術提案時に求めているのはなぜか。</p> <p>テーマ の機能連携とは、病院や消防といった機関との連携も含めた提案を求めているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・同種業務は全国の他の同用途施設の事例を参考としつつ最低限の条件を設定し、類似業務ではさらに要件を緩和した。・工事の場合のガイドラインを準用している。また、他の地方整備局の類似事案における条件を参考に設定している。・建設コストに特化したテーマとし、技術提案の論点を明確化している。具体の設計においては、ランニングコストを含めて設計するよう求めている。・参加者の選定のために左記項目を評価し、技術提案時は設計者からの提案内容等を重視した評価としている。・敷地内で整備する施設についてのみ。ただし、緊急車両の敷地内での動線等については本テーマに含む。

